

本機器に接続した端末(PC等)からWebサイトを閲覧しようとした場合に、右記のような

「Facebook拡張ツールバックを取り付けて安全性及び使用流畅性を向上します」又は「閲覧効果を良く体験するために、最新chromeバージョンへ更新してください。」というメッセージが出てインターネット接続できなくなるという事象が発生した場合は、次ページ以降の手順を参照し、本機器の設定変更をお願いします。

※右記画面において、「OK」「閉じる」等のボタンを押さないようにお願いします。

(ブラウザの推奨操作については、ページ後部の参考3～6に記載)

※現在特定された攻撃用のDNSサーバについては既に停止措置がとられ、「このページを表示することができません」等の画面が出る場合もございますが、その際も同様に以下手順での設定変更をお願いいたします。(参考1)

※Webブラウザにアクセスする際にアドレスバーが表示されていない場合やアドレスを入力できない場合は直接「ファイル名を指定して実行」を行い、装置のアドレス「<http://192.168.1.1>(初期値の場合)」を入力し、アクセスするようにしてください。

(参考2)

【手順1】DNSアドレス確認手順(その1)

【手順2】DNSアドレス確認手順(その2) およびステルスモード変更画面

【手順3】ID/パスワード確認手順

なお【手順1】において設定変更の必要がなかった場合においても、本機器を安全にご利用いただくための基本的対策として、【手順2】【手順3】の対応を行っていただけますよう、お願いいたします。



【手順1】DNSアドレス確認手順（その1）

・[ルータ設定]-[LANインタフェース設定] のページにおいて、「DNSサーバアドレス」が変更されていないか確認し、変更されている場合は修正してください。なお、設定保存した後はDNSサーバアドレスを即時反映させるため、誤ったWebサイトの表示を強制終了させるため、利用している端末（PC、モバイル端末等）の再起動を実施してください。

<機能詳細ガイド P.2-22>

LAN インタフェース設定

LAN についての基本設定です。通常は、変更する必要はありません。

【参考】

DNSサーバアドレスが変更されている事例として、以下の5つのアドレスが報告されています。

220[.]136.176.162

220[.]136.81.222

220[.]136.106.4

118[.]166.6.168 (3/29追加)

118[.]168.201.131 (3/29追加)

このアドレスは追加となる可能性があります。

- ・IPv4アドレス設定に設定されているIPアドレスとプライマリDNSサーバアドレスが一致していることを確認してください。
- ・IPv4アドレス設定の記載例192.168.1.1は初期値であり、設定変更されている可能性があります。
(192.168.1.1以外のIPアドレスであっても、IPアドレスとプライマリDNSサーバアドレスが一致していれば問題ありません。)

注意: お客様にてDNSサーバアドレスを設定されている場合には設定を削除しないでください。

- 1 Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P.2-4）の手順 1～3 を行います。
- 2 [ルータ設定] → [LAN インタフェース設定] をクリックする

【手順2】 DNSアドレス確認手順（その2）およびステルスモード変更画面

■ インターネットからのアクセスが可能となる設定

- ・[ルータ設定]-[WANインタフェース設定]-[PPPoE接続]のページにおいて、「DNSサーバアドレス」が変更されていないかの確認と「ステルスモード」が「無効」となっていないかを確認してください。(工場出荷時は有効)

<機能詳細ガイド P.2-14 または、P.2-30>

OGS10Ka
インターネット設定

基本設定

インターネット名

接続モード

自動切断するまでの時間(秒)

認証設定

ユーザ名

パスワード

認証方式

IPv4アドレス設定

アドレス設定方法

IPアドレス

マスク長

詳細設定

MTU値

MRU値

PPPキープアライブ機能

LCP ECHO (送信間隔(秒))

LCP ECHO (ホライ送信間隔(秒))

LCP ECHO (ホライ回数(回))

セキュリティ設定

ステルスモード

攻撃検出

設定保存

前のページへ戻る

【参考】

DNSサーバアドレスが変更されている事例として、以下の5つのアドレスが報告されています。

220[.]136.176.162

220[.]136.81.222

220[.]136.106.4

118[.]166.6.168 (3/29追加)

118[.]168.201.131 (3/29追加)

このアドレスは追加となる可能性があります。

DNSサーバアドレスに、数値が入っていて、「利用する」にチェックが入っている場合は、いったん「利用しない」に設定を変更した後、DNSサーバアドレス欄を値を削除して、その後、「利用する」に戻してください。

無効にチェックが入っている場合は、

- ① 有効にチェック
- ② 設定保存をクリックしてください。

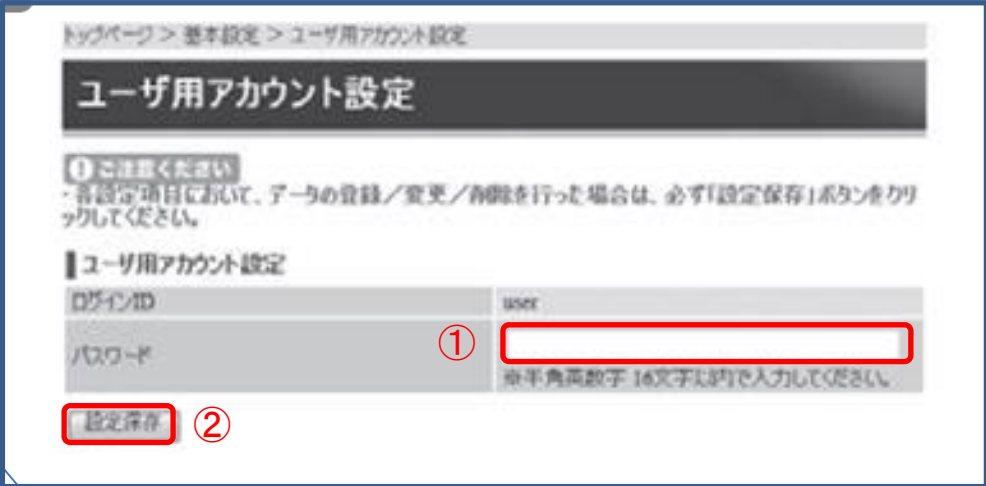
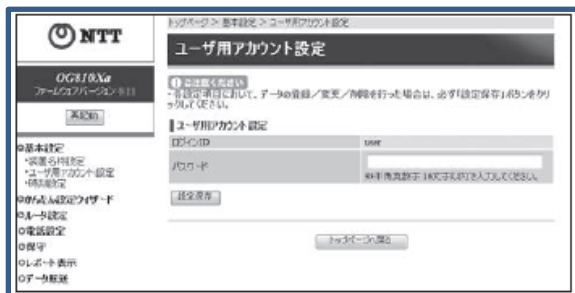
【手順3】ID/パスワード確認手順

・[基本設定]-[ユーザアカウント用設定] のページにおいて、「パスワード」を変更してください。

＜機能詳細ガイド P.2-8＞

ユーザ用アカウントを設定する

設定画面にログインするためのパスワードを設定します。



- 1 Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（P.2-4）の手順 1～3 を行います。
- 2 [基本設定] をクリックする
- 3 [ユーザ用アカウント設定] をクリックする
- 4 [パスワード] にパスワードを入力する
半角英数字と記号（「-」「/」「_」）で、16 文字以内で入力します。
入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。
- 5 [設定保存] をクリックする
設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、[設定保存] をクリックする前に [トップページへ戻る] をクリックしてください。

お願い

- セキュリティ性を向上させるため、初期設定時にはパスワードの変更を強く推奨します。なお、パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。
- 設定したパスワードを忘れてしまうと、本商品へのログインができなくなります。パスワードは忘れないようにご注意ください。万一パスワードを忘れてしまった場合には、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

- ①基本設定をクリック
- ②ユーザ用アカウント設定をクリック
- ③任意のパスワードを入力
（文字数を長くする、記号を入れるなど、**第三者から推測されにくいパスワードを推奨してください**）
（半角英数字と記号「-」「/」「_」で、16文字以内）
- ④設定保存ボタンをクリック

以上でパスワード変更が完了です。

【参考 1】DNSサーバが使用停止された場合の画面

ご利用の端末により、表示方法が多少異なる場合がありますが、DNSサーバが使用停止されている場合は以下のような画面が表示される場合がございます。



 このページを表示できません

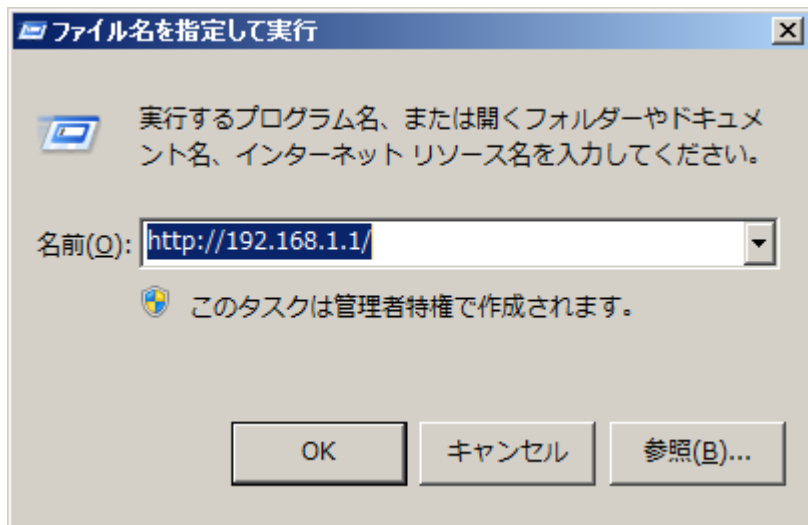
対処方法

- Web アドレスが正しいことを確認してください:
<https://www.ntt-east.co.jp>
- Bing で "<https://www.ntt-east.co.jp>" を検索してください
- ページを最新の情報に更新

詳細

【参考 2】ファイル名を指定して実行

ブラウザにてアドレスバーが無い場合やアドレスバーへの入力ができない場合は、スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を実施し、直接、本装置のIPアドレスを入力してください。
スタートメニューが無い場合は、お使いのキーボード上の「Windowsロゴマーク」及び「R」キーを同時に押すことで表示可能です。



【参考3】Edge（初期設定）でアクセスした場合の画面遷移と推奨操作



このサイトは安全ではありません

だれかがユーザーを騙そうとしているか、サーバーに送信されたデータを盗み取ろうとしている可能性があります。このサイトをすぐに閉じてください。

 スタート ページに移動

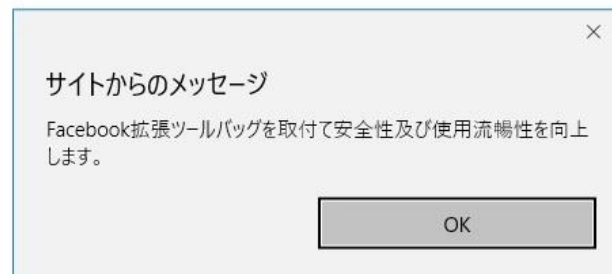
詳細

お使いの PC はこの Web サイトのセキュリティ証明書を信頼しません。
Web サイトのセキュリティ証明書のホスト名が、参照しようとしている Web サイトと異なります。

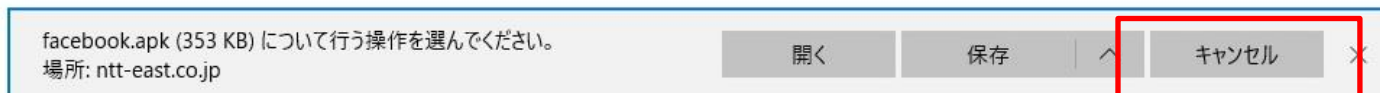
エラー コード: DLG_FLAGS_INVALID_CA
DLG_FLAGS_SEC_CERT_CN_INVALID

Web ページへ移動 (非推奨)

1. ページにアクセスしようとする、上記が表示される
ブラウザウィンドウの×ボタンでウィンドウを閉じることができるので×ボタンで閉じるが推奨
2. 誤ってWebページへ移動をクリックすると次画面に遷移



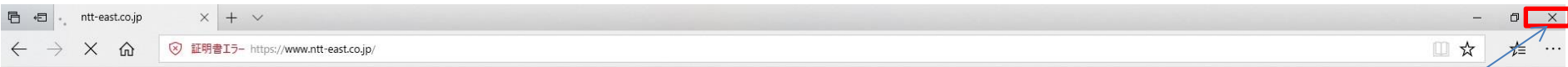
3. 移動すると上記がポップアップで表示
【推奨】ブラウザウィンドウの×ボタンでウィンドウを閉じることができるので×ボタンで閉じる（参考次ページ）
4. 誤ってポップアップの×ボタンもしくはOKを押すとダウンロードに遷移



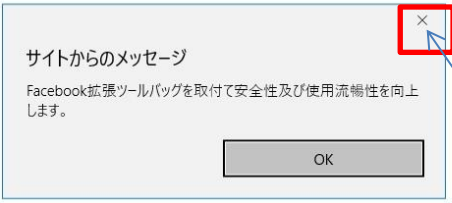
5. ダウンロードするファイルについての操作の選択を求められる
【推奨】キャンセルを選択

【推奨】もしファイルをダウンロードしてしまったら削除する

【参考4】Edge（初期設定）でアクセスした場合の画面遷移と推奨操作（補足）

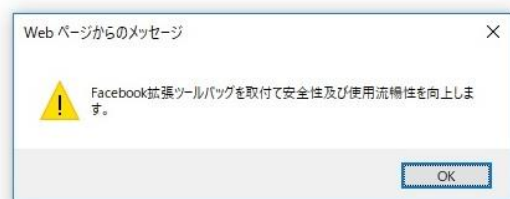


ここをクリックする



ここをクリックしない

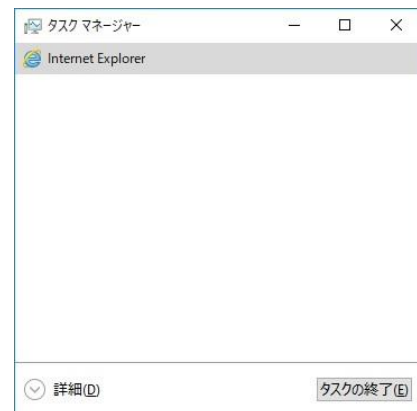
【参考5】IE（初期設定）でアクセスした場合の画面遷移と推奨操作



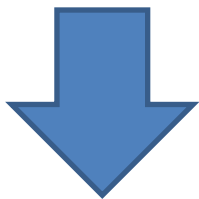
1. ページにアクセスしようとする時、上記が表示される
(ブラウザのウィンドウの×ボタンは動作しない)

【推奨】Ctrl+Alt+Deleteでタスクマネージャを起動する→右画面

2. 誤ってポップアップの×ボタンやOKを押すとダウンロードに遷移



【推奨】Internet Explorerを選択し、タスクの終了を押す



3. ダウンロードするファイルについての操作の選択を求められる

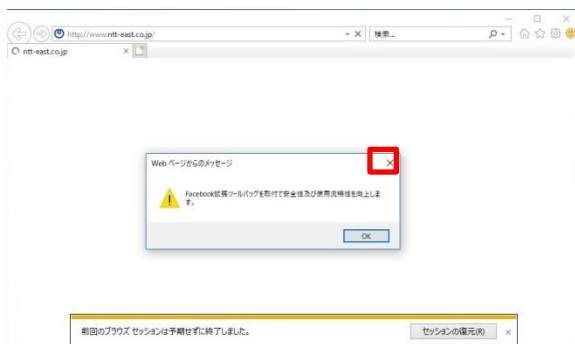
【推奨】キャンセルを選択

【推奨】もしファイルをダウンロードしてしまったら削除する

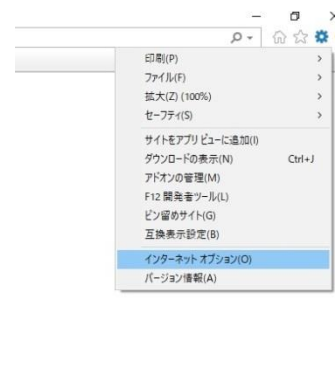
DNS設定修正後にポップアップが残る場合は次ページを参照

【参考6】IE（初期設定）でFacebook・・・のメッセージが残る場合の対処

検証環境で実施したところ、DNS設定を正しく修正後にアクセスした場合に、Facebook・・・のポップアップ表示が残ってしまったので、正常に戻す際の操作方法を記載
(おそらくIEのキャッシュの問題だと考えられる)



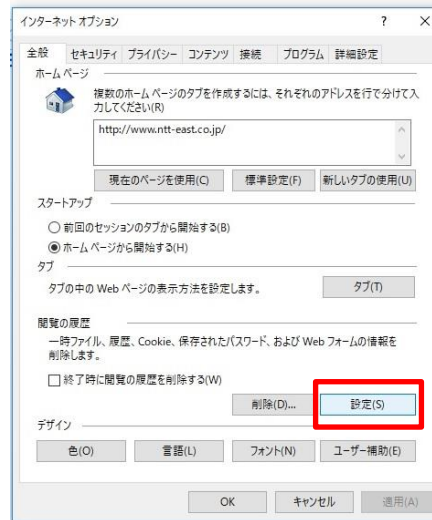
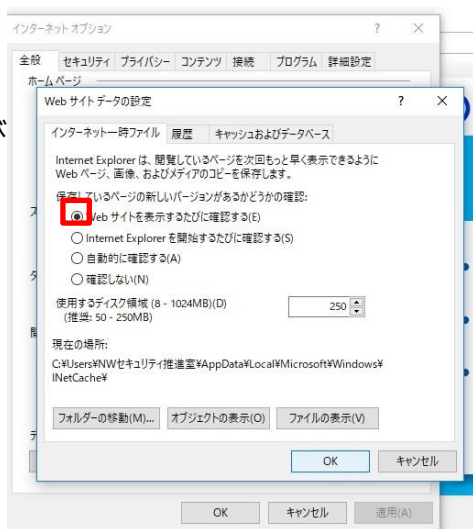
1. 次回起動画面(Facebook・・・が出る)
2. ポップアップを×ボタンで消す
(特にダウンロードは起こりません)



3. 右上の設定メニューよりインターネットオプションを選択



5. Webサイトを表示するたびに確認するを設定
6. ブラウザを再起動
(以後設定を戻してもOK)



4. 閲覧の履歴の設定をクリック